

労福協 NEWS

<https://www.tokushima-rofuku.net/>

2025. 4 No.123



徳島県委託「とくしま外国人雇用トータルサポート事業」 ～「外国人に選ばれる徳島」をめざして～

徳島県労働者福祉協議会では、2014年度から徳島県委託事業として、「定住外国人の就労・社会参加支援事業」を実施してきました。受託当初は、職場で通用するレベルの日本語講座や自動車運転免許取得支援講座等、日本語学習支援を柱とした事業でしたが、在住外国人の増加とともに、2019年度に「外国人労働相談サポート事業」が、また、2020年度に「外国人雇用に関するセミナー」や外国人対象合同就職説明会「グローバルキャリアフェア」等を実施する「働くなら徳島で！外国人就労支援事業」が追加されました。2022年度からは、これらを統合した「とくしま外国人雇用促進事業」として拡充されました。さらに2024年度には、雇用のミスマッチを防ぐこともねらいとした「職場体験」も導入され、相談から就職・キャリアアップ・定着までの包括的な事業化が実現しました。

受託当初の2014年6月末の県内在留外国人数は4,961人で、同時期の県人口764,683人の0.65%を占め、154人にひとりが外国人という状況でした。出入国在留管理庁が3月14日に発表した最新の統計によると、2024年12月末の本県の在留外国人数は8,907人で、同時期の県人口683,510人に占める割合は1.3%と過去最高となり、77人に1人が外国人という状況を迎えました。

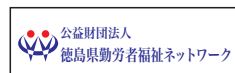
当初は、日本語講座や資格取得講座を修了してから就職する傾向にありましたが、現在は、様々な職種・在留資格で働く外国人が増加しており、当協議会が実施する「外国人労働相談」や「グローバルキャリアフェア」、「職場体験」も多くの方に就職・転職の経路として活用いただいています。

特に「外国人労働相談」は、2023年度の80件から2024年度は252件と3倍以上増加し、相談内容も就職や転職をはじめ、就業中の怪我やハラスメントによる労災申請、在留資格変更、資格取得、日本語学習等、多岐にわたっています。外国人雇用を検討している経営者からの相談も増えてきました。このような相談に弁護士や行政書士、労働局や労働組合等、専門家や専門機関につないで解決に向けて伴走支援を行っています。

そして、2025年度には、外国人の雇用・定着に向けた包括的な支援を行う「とくしま外国人雇用トータルサポート事業」が実施されることになりました。本事業では、週2回であった「外国人労働相談」窓口の常設化をはじめ、「グローバルキャリアフェア」に加えて業種ごとの「オンライン就職面接会」の開催、ビジネス日本語講座に労働法規や税金、社会保障制度等を組み込んだ総合的な「就労支援講座」の開催等、これまでの取組みがそれぞれ拡充されることになりました。

本事業受託を契機に、2021年度に開設した「在住外国人就労支援室」を、「在住外国人サポート事業部」と改組し体制強化をはかるとともに、11年間の事業運営をとおして構築した官民協働の就労・定着支援ネットワークを生かした事業運営に努め、「外国人に選ばれる徳島」の実現に向けた取組みを充実させてまいります。

「労福協 NEWS」は、連合、労金、こくみん共済 coop、勤労者福祉ネットワーク、労福協の5団体による「共同デスク編集委員会」を持ち発行しています。



労福協

第32回労働者福祉メーデー（労働者福祉合同研修会）



2024年11月1日(金)、第32回となる労働者福祉メーデー(労働者福祉合同研修会)が労働福祉会館にて開催され、労働組合、労働者福祉事業団体などから36名の方が出席しました。

今年度は参加者の利便などを考慮して運営方法の見直しを行い、同日開催の「県民と働く者のとくしまフェスタ2024開会式典」に引き続いて労働者福祉メーデーを開催することとしました。

冒頭、県民と働く者のとくしまフェスタ2024実行委員会の森本実行委員長より、「『県民と働く者のとくしまフェスタ』は、勤労者の余暇推進を目的に長年取り組んできた労福協の基幹事業の一つであります。その中で労働者福祉メーデーは労働者の祭典として実施し、今回で第32回を数えることとなりました。これまで格差と貧困の問題や働き方改革、女性の人権、SDGsなど、多岐にわたるテーマで開催してきました。今回は高等教育費とりわけ奨学金返済の問題について、中央労福協の南部美智代事務局長にご講演をお願いしているところであります」と挨拶がありました。

次に、労福協の梶本一夫専務理事より2025年度労働者福祉に関する重点課題について報告がありました。その中で、「生活困窮者自立支援制度の拡充・体制整備」と、「給付型奨学金制度の導入・拡充そして教育費負担の軽減」「労働者自主福祉事業の一層の推進」についての3点を重点課題として据えました。引き続き、梶本専務理事が『メーデー宣言(案)』を読み上

げ、一同拍手をもって採択されました。

さて基調講演は、学費の高騰などから近年社会問題となっており、労福協の政策制度要求の一つにも掲げられている教育費をテーマとして、「高等教育費、奨学金返済の負担軽減のために私たちにできること!」と題して、労働者福祉中央協議会の南部事務局長に約1時間のご講演をして頂きました。

講演では、まず労福協の歩みと様々な制度要求について振り返り、それに重ね合わせるように公的奨学金制度の歴史を解説されました。



「奨学金制度改善・教育費負担軽減」運動は2015年からスタートし、コロナ禍での活動を経て、現在は第3期目であることや、授業料の高騰と奨学金返済の負担などの実態を明らかにされました。

最後に、社会経済における協同組合の役割と期待、SDGs、そして労福協2030ビジョンに言及され、講演を締めくくりました。

外国人労働相談

(徳島県委託事業)

【相談場所】

徳島県労働者福祉協議会
(徳島市昭和町3丁目35-1 労働福祉会館内)

【相談料】
無料

【フリーダイヤル】

TEL 0120-258387

【実施日時】 毎週 月～金曜日 13:00～17:00

※ 祝日、お盆、年末年始は除く

来所、TEL、オンラインで相談できます。

連 合

県民と働く者のとくしまフェスタ2024「2025Syunto ふれあいファミリーデー」

連合徳島 親子スプリングキャンプ

連合徳島は、2025年3月22(土)、23日(日)の2日間、海陽町の「まぜのおかオートキャンプ場」にて、県民と働く者の徳島フェスタ2024として2025 Syunto ふれあいファミリーデー連合徳島親子スプリングキャンプを開催し、連合徳島各構成組織組合員およびその家族や友人計68人が参加し、交流を深めるとともに自然の大切さを学習しました。

まず、11時から連合徳島3地協合同防災植樹に参加し、キャンプ参加者及び植樹参加者合わせて約100人で200本の黒松を塩害被害のあった大里松原海岸に植樹を行いました。

植樹を終えてキャンプの参加者はまぜのおかオートキャンプ場へ移動をし、昼食を取りました。

午後からはあらためて連合徳島親子スプリングキャンプの開会式を行い、主催者を代表して連合徳島・島会長から挨拶があり、キャンプ中の注意事項やスケジュールの説明を行いました。

昼のイベント①「お話し」では、大里集落の斎藤さんから午前中植樹をした場所である「大里松原の歴史」について、「大里海岸は、大昔より大津波と侵食の繰り返しにより出来た海岸で、昔から地域の生活と命を守ってくれた大切な松原でしたが、松くい虫の被害と台風による高波の影響で、多くの松林が枯れてしまいました。蘇生するために連合徳島さんにも協力をいただきながら一生懸命植樹に取り組んでいます。」と説

明がありました。また、昨年上陸したウミガメが卵を産んだが、残念ながら孵化することなく今後に期待していることも併せて報告がありました。

昼のイベント②「木工教室」では、まず全員で記念撮影を行い、大里集落の皆さんの指導のもと、親子で協力して竹にドリルで様々な模様の穴をあけて竹灯籠を



完成させました。夕食はバーベキューをし、参加者と大里集落の皆さんも一緒に盛り上がりまし



た。バーベキューの合間で各家族に必ず当たる大人向けの景品の抽選会と、子どもたちはバケツにお菓子の詰め放題を行い、こちらも盛大に盛り

上がりました。

2日目は朝食をとり、各自コテージの片付けを済ませ、親子スプリングキャンプを終えました。

タイトなスケジュールではありましたが、大里集落の皆さんや多くの関係者にご協力をいただいたことに感謝します。



ろうきん

四国労働金庫『ピンクリボン運動』

四国労働金庫は社会貢献活動の一環として、「女性が健康で長く働くことができる社会づくり」に貢献するために、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボン運動」への支援に取り組んでいます。

具体的には、四国ろうきんATMでの支払取引数およびろうきんアプリ契約者に応じて、1取引（契約）あたり1円を四国ろうきんが拠出し、四国地区内の「ピンクリボン運動」を実施している「公益財団法人日本対がん協会」のグループ組織に寄付します。

2024年度の実行期間（2024年2月～2024年1月）における寄付金額は683,144円となりました。

なお、2025年度も引き続き取り組みます。



□寄付先および寄付金額

寄付金額 合計 683,144円
(2012年度からの累計金額 11,418,930円)



地区	寄付金額	寄付先	所在地
徳島	116,772円	公益財団法人 とくしま未来健康づくり機構	徳島市 蔵本町
香川	144,297円	ピンクリボン かがわ県協議会	高松市 郷東町
愛媛	179,118円	ピンクリボン えひめ協議会	松山市 味酒町
高知	242,957円	公益財団法人 高知県総合保健協会	高知市 棧橋通

こくみん共済 coop

こくみん共済 NEWS (90c22Z139.23.05)



こくみん共済 coop

お住まいの地盤診断サービス

～地盤の強さや、自然災害のリスクを確認～

もしものリスクに適切に備えるために。

地震・液状化・浸水の可能性など、お住まいのリスクを今すぐチェック!

住所を入力するだけで、お住まいの地盤サポートマップがダウンロードできます。

ステップ

1

かんたん 住所で検索するだけ!



住所を入力

検索開始

ステップ

2

あんしん お住まいの地盤がわかる!



ステップ

3

くわしい 基本情報や防災情報も

- ・浸水の可能性
- ・地震時の揺れやすさ
- ・液状化の可能性
- ・土砂災害の可能性 etc...



ステップ

4

レポートを作成する

こくみん共済 coop の HP 内「お住まいの地盤診断サービス」ページ <https://www.zenrosai.coop/kyousai/kasai/groundsupportmap.html>

スマートフォン



スマホからでも すぐに調べられる

パソコン



地盤診断 サイト内検索が便利!

建てるを支える。住まうを想う。



ジャパンホームシールド株式会社 公式キャラクター ジャパわん



こくみん共済 coop 公式キャラクター ビットくん



たすけあいの輪をむすぶ こくみん共済

※ご入力いただいた住所は地図の表示以外では使用しません。
※地盤サポートマップはジャパンホームシールド株式会社が提供するサービスです。
※防災情報については、国土交通省や市町村のハザードマップも併せてご確認ください。
※このサービスは将来予告なく変更もしくは中止されることがあります。あらかじめご了承ください。

たすけあいの輪をむすぶ

勤労者福祉ネットワーク

◆あわ〜ず徳島ゲーム大会

2025年1月19日(日)、あわ〜ず徳島初のゲーム大会には、多くの会員とご家族が参加しました。

大会のゲームタイトルに加え、体験ブースも用意し、子どもたちに大好評でした。会場では大きなスクリーンでゲーム画面を観戦でき、YouTubeでは実況解説付きの生配信も行いました。

しかし、大会開始直後にインターネット回線のトラブルが発生し、進行が大幅に遅れてしまいました。また、オンラインでの参加ができないなど、参加者の皆様には多大なご迷惑をおかけしました。

大会終了後に実施したアンケートでは厳しいご意見をいただきましたが、多くの方から「次回も参加したい」との声を頂戴しました。今回の経験を活かし、第2回の開催に向けて準備を進めています。



大きなスクリーンで迫力の大会!



子どもたちに大人気の体験ブース

◆三好長慶公武者行列in大東

2025年3月1日(土)、毎年大阪府大東市で行われる「三好長慶公武者行列 in 大東」に、今年も「徳島県勤労者福祉ネットワーク隊」として、徳島から総勢23名で参加しました。

当日の武者行列参加者は400名にのぼり、各々が手作りの甲冑や陣羽織などの時代衣装を身にまといました。参加した20隊は、それぞれ個性的なパフォーマンスとかちどきを披露しながら舞台上で出発式を行い、長慶が天下人として活躍した飯盛城の麓の城下町を1時間半かけて練り歩きました。

沿道では多くの方が旗を振り、声援を送っていただきました。戦国時代に徳島で生まれた三好長慶公が活躍した飯盛城に思いを馳せながら、非日常を楽しめる素晴らしい1日となりました。



出陣式でかちどきを上げる徳島県勤労者福祉ネットワーク隊



出陣前に記念撮影

←ぽん丸。2025

おかげさまで ←ぽん丸。20周年



2万円分の旅行券など
豪華プレゼントが
盛りだくさん!

今すぐ↓
ダウンロード!



応募方法
←ぽん丸。に関する写真を送る!
もしくは Instagram にアップするだけ!

詳しくは
アプリか
本誌を
ご覧ください

地域ライフサポートセンターの活動

徳島中央ライフサポートセンター

キウイ収穫体験祭り

と き 2024年11月9日（土）10時から12時
 と ころ 佐那河内果樹オーナー園
 主 催 県民と働く者のとくしまフェスタ
 実行委員会
 徳島中央ライフサポートセンター
 協 賛 （公社）徳島県労働者福祉協議会、
 四国労働金庫徳島営業本部
 参加費 一人500円
 参加人数 138名（スタッフを含む）

「県民と働く者のとくしまフェスタ 2024」の一環として、県民の方々が家族やグループで楽しめる「キウイ収穫体験祭り」を実施しました。9月24日（火）から10月11日（金）まで徳島中央ライフサポートセンターのホームページや構成組織からの広報を実施し、メールやファックスで参加者の募集を行った結果、募集人員50グループ150名のところ155グループと多数の応募がありました。



11月9日（土）の当日は、素晴らしい秋晴れに恵まれ、スタッフを含め138名と多くの方に参加

をいただきました。

小さな子どもたちも一生懸命キウイを収穫し、籠が一杯になると神社に持ち帰り、ビニール袋にキウイをどんどん詰めます。今年は、持ち帰りのキウイをひとり25個としましたが、昨年より実が大ぶりだったので、ほとんどの方が袋いっぱい詰めることができました。

当日、収穫したキウイは硬くて食べられないので、果樹オーナー園の方が用意していただいた、試食用のキウイを美味しくいただきました。

なお、事務局が収穫したキウイは11月18日

（月）に、シングルマザーを支援する「女性グループ・すいーぷ」と子どもへのあらゆる暴力をなくすための活動を行う「CAPとくしま」に寄付させていただきました。



徳島西部ライフサポートセンター

～地域貢献事業（スポーツ少年団支援）～

徳島西部ライフサポートセンターでは、地域貢献事業として、スポーツ少年団支援を行っています。活動を通じて「徳島西部ライフサポートセンター」の名前を知っていただく機会も増えました。

- ①第38回徳島県西部小学生バレーボール連盟春季大会（5/19）
- ②第19回東みよし町スポーツ少年団サッカー大会（10/5～6）
- ③第29回PHC杯少年サッカー大会（2/11）
- ④第8回阿波池田ライオンズクラブ旗争奪学童軟式野球大会（3/1）

どの大会においても、子どもたちの熱のこもった戦いが展開されました。交付した協賛金は、トロフィーやメダルに使われています。



今後も地域の皆様との繋がりを大切にし、そして少しでも子どもたちの力になれるよう、支援を続けてまいります。



徳島南部ライフサポートセンター

2024年度自動車運転免許取得講座 閉講式

2025年2月8日(土)、7月から7ヶ月間30回に亘る、自動車運転免許取得特別講座の最終日を迎えることが出来ました。

講座に先立ち閉講式が行われ、労福協森本



会長から、「去年の夏から30回、熱心に受講された受講生の皆さんご苦勞様でした。そして何より寶先生ご指導ありがとうございました。心から御礼

申し上げます。徳島は免許があれば活動範囲が広がります、是非取得していただきたい。今回の講座が終わっても道路標識に関心を持ち意味を確認して覚えてください。そして、正しい知識を身につけてください。皆さんの今後に輝かしい未来が待っていることを祈念申し上げます。」と、閉講に際してのエールが送られました。

講師の寶先生からは、「道路には、信号機の数以上に道路標識がたくさんあります。道路標識が分からないと安全な運転は出来ません。習ったことをもう一度見返して、標識を自分のものにしてください。わからないことがあればいつでも連絡して来てください。」と、免許取得に向けて温かいお言葉をいただきました。



受講生からは、「長期に亘りご指導ありがとうございました。初めのうちは、分からないこと

ばかりでしたが、受講回数を重ねるごとに少しずつ理解できるようになりました。今日で最後の受講になりますが、今後は家でも勉強して早く免許が取れるように頑張ります。また、免許を取ってからも安全を心掛け運転したいと思います。」と受講の感想や、お礼の言葉が述べられました。

和やかな雰囲気の中で、記念撮影を行い式典が終了しました。

皆さん、自動車学校への挑戦、自信を持って頑張ってください。引き続き南部ライフサポートセンターは、皆さんの努力が報われますよう、色々なサポートを続けてまいります。



仕事や家庭、暮らしの悩みは ありませんか？

*どんな相談でも専門のアドバイザーが
無料でお答えします。

■徳島中央ライフサポートセンター

〒770-0942
徳島市昭和町3丁目35-1 徳島県労働福祉会館5F
電話 **088-623-4105** FAX: 088-678-4177
E-mail chuou-lifeh@utopia.ocn.ne.jp

■徳島西部ライフサポートセンター

〒778-0002
徳島県三好市池田町マチ2212-2
電話 **0883-72-8611** FAX: 0883-72-8622
E-mail seibu-life@wish.ocn.ne.jp

■徳島南部ライフサポートセンター

〒774-0030
徳島県阿南市富岡町玉塚21 里見ビル1F
電話 **0884-24-9501** FAX: 0884-24-9503
E-mail nanbu-life@vanilla.ocn.ne.jp

ネットでのトラブル、職場でのハラスメントなど多くの相談が寄せられています。一人で悩まないでお気軽にご相談ください。プライバシーは守られます。

フードバンクとくしま

四国内のフードバンク事業団体の連携強化に向けて

一般社団法人 四国フードバンク連絡協議会の設立

去る1月28日(火)、徳島市内において、四国4県フードバンク物流会議及び一般社団法人 四国フードバンク連絡協議会設立総会が開催されました。

四国4県フードバンク物流会議は、22年度より、大規模災害等の発災時にフードバンクの役割を検討すると共に、各県で活動しているフードバンク間の連携を図る趣旨で、学習と交流を続けてきました。

今年度は、昨年夏に続いて二回目の会議として、四国4県から、オンラインを含めてフードバンク事業を行う9団体と全国組織の2団体が参加し、①トレーラーハウスの活用によるフードバンク事業の可能性、②官民連携による能登半島地震への対応と被災者支援の取り組み、③一般社団法人四国フードバンク連絡協議会設立総会などを主題として開催されました。

会議では、まず始めに、トレーラーハウスのメーカーからトレーラーハウスの活用についてその機能などの説明を受け、意見交換をしました。

二つ目には、昨年一月の能登半島地震の際に、二日目から救援に入った先遣隊の報告を受け、被災者支援の初動対応や課題について報告を受け、情報共有や、地域事情による救援活動などの課題が明らかにされ、フードバンク事業についても息の長い活動が求められ

ると提起されました。

三つ目は、四国4県のフードバンク事業を行う団体間の今後の情報交換や事業の連携を図るための組織として、「一般社団法人四国フードバンク連絡協議会」の設立総会が開催されました。

「連絡協議会」は、フードバンク間の情報交換や連携のみならず、大規模災害の際の中核としての機能や規模の大きな食材提供の際の中核としての機能を持つと共に、各種のフードバンク機能強化に向けた研修会や新規のフードバンク立ち上げの支援等をおこなうことも確認されました。

会長には、歴史のある高知県のフードバンクである「高知あいあいねっと」代表の青木美紀氏とし、事務局長は「フードバンクとくしま」の川上事務局長が担い、事務局を「フードバンクとくしま」が担当することとなりました。

このようなエリアを対象とする連携組織は、東北に次いで全国で二番目となります。

今後、「連絡協議会」の事業拡大や機能強化がとりもなおさず四国各県のフードバンクの機能や事業拡大に繋がるものとして、大いに期待されますので、改めて関係各位のご協力とご支援をお願いします。



2月1日(土) 徳島新聞掲載

「もしも」に備え
「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会」の実現に向け、
皆さまとともに取り組んでいきます。



公式キャラクター
ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 **〈全労済〉**
全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop**

【こくみん共済 coop】は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

はたらくあなたの、
いちばんそばに。

ろうきんは
はたらく人に
寄り添う、協同組織の
福祉金融機関。
だから、私の
メインBANK。



©森川 葵

〈四国ろうきん〉の詳しい情報は各営業店にお電話で。

徳島支店	徳島市昭和町3丁目35-1	☎ (088) 623-1111
池田支店	三好市池田町サラダ1612-2	☎ (0883) 72-0399
徳島北支店	板野郡北島町中村字東開10-5	☎ (088) 698-1111
阿南支店	阿南市富岡町トノ町71-20	☎ (0884) 22-2132
鴨島支店	吉野川市鴨島町鴨島342-1	☎ (0883) 24-3113

徳島ローンセンター 徳島市中島町1丁目11-1 ☎(088)634-1000	徳島北ローンセンター 板野郡北島町中村字東開10-5 ☎(088)698-1112	 
--	---	---

発行 公益社団法人 **徳島県労働者福祉協議会**

徳島市昭和町3丁目35-1（わーくびあ徳島内）
TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113
URL <https://www.tokushima-rofuku.net/>
e-mail tokushima@rofuku.or.jp

編集・発行人 森本佳広
印刷者 (有)フォトプリント白石